

国道 331 号南城市久手堅地区の 無電柱化整備について

沖縄総合事務局 南部国道事務所

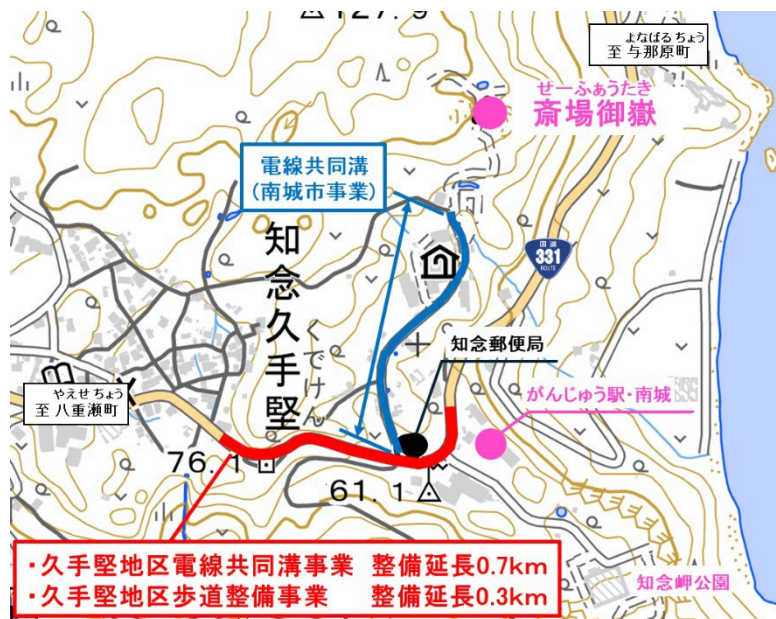
はじめに

沖縄県南城市は、沖縄本島南部の東海岸に位置しており、美しい自然と豊かな歴史・文化遺産が魅力です。特に、琉球開闢（りゅうきゅうかいびやく）の神話に関わる斎場御嶽（せーふあうたき）は琉球王国最高の聖地と言われており、2000 年 12 月に世界文化遺産に登録されました。

沖縄総合事務局と南城市では世界文化遺産である「斎場御嶽（せーふあうたき）」周辺の景観向上のため無電柱化整備を推進しており、沖縄総合事務局 南部国道事務所で整備を進めてきた国道 331 号南城市久手堅（なんじょうしくでけん）地区において無電柱化整備および歩道整備が令和 7 年 3 月に完了しましたので紹介します。



【位置図】



【平面図】

- ・久手堅地区電線共同溝事業 整備延長0.7km
- ・久手堅地区歩道整備事業 整備延長0.3km

無電柱化事業について

当該地区を含む国道 331 号は、防災上重要な第二次緊急輸送道路であると共に、当該路線付近には南城市地域防災計画により緊急避難場所に指定されている知念体育館、南城市知念社会福祉センター等があり、緊急時に地域防災上重要なエリアとなっています。台風等の災害時に電柱の倒壊を防止し、避難路及び緊急車両の通行を確保することで速やかな避難、復旧を図ることを目的として、国道 331 号久手堅地区電線共同溝事業が平成 28 年度に事業化されました。

世界文化遺産である斎場御嶽（せーふあうたき）周辺の防災性の向上、良好な景観形成を目的として電

線共同溝整備を行い、令和4年12月に電線共同溝工事を完成し、令和7年3月に電線類の地中化、架空線の撤去、電柱16本の抜柱が完了しました。

併せて南城市において国道331号から斎場御嶽までの市道の無電柱化も今夏完成に向け整備が進んでいるところです。



【無電柱化・歩道整備前】



【無電柱化・歩道整備後①】



【無電柱化・歩道整備後②】



【南城市市道整備区間】

歩道整備事業について

当該地区は世界文化遺産の斎場御嶽や、がんじゅう駅（南城市地域物産館）、知念岬公園等が隣接する、南城市の主要な観光地であり、観光客を主とした歩行者が多い特徴があります。観光客が多いなか、歩道幅員が狭い区間や、歩道未整備区間があるため、歩行者の車道路肩の通行や、横断歩道以外の箇所での乱横断が発生していました。



歩道整備前（歩行者の通行状況）



歩道整備前（歩行者の路肩通行）



歩道整備前（歩行者の乱横断および路肩通行）



歩道整備前（歩行者の乱横断）

そのため歩行者の安全性確保を目的とし平成 31 年度に、久手堅地区歩道整備事業が事業化されました。上下線の歩道幅員を拡幅し、海側の一部区間は張出歩道を用いて幅員を確保しました。歩道部には、歩行者保護と乱横断防止対策を兼ねて車両用防護柵を設置し、海側の眺望を楽しむことができる区間には透過性の高いデザインで、安全性に配慮したワイヤーロープ式の転落防止柵を設置しました。



歩道整備後（拡幅した歩道（歩道幅員 W=2.5m））



歩道整備後（新設した歩道・車両用防護柵）



歩道整備後（海を眺望できる工夫）



歩道整備後（ワイヤータイプの転落防止柵）

南城市との連携について

世界文化遺産周辺の景観への配慮を目的として南城市と連携し、電力地上機器へ観光案内図等のラッピングを行いました。



【案内表示のラッピング】



【案内マップのラッピング】



【案内マップを見る観光客】

終わりに

本箇所において、電線共同溝を整備し無電柱化することで、災害時における緊急輸送道路の確保並びに安全で快適な歩行空間の確保を図ると共に、良好な都市景観の形成にむけたまちづくりの促進につながる。

また、観光客が多いなか、歩道幅員が狭い区間や、歩道未整備区間が一部あるため、歩行者の路肩通行や、横断歩道以外の箇所での乱横断が発生していたが、歩道新設、歩道拡幅および横断防止柵の整備により歩行者の安全性が確保され、地域住民および観光客等を含めた安全・安心に寄与している。

今回の整備により、防災性の向上、交通安全の確保、良好な景観が形成され、観光拠点として更なる地域の活性化が期待されます。